



想像よりも
100倍
楽しい
ハーレーツーリング

»07

今回は、初参加がソロで2人。そしてご夫婦タンドムでの初参加もあった。ベテランは多くがツーリングモデルで、その威風堂々とした走りっぷりは、さすがハーレーという感じである。目的地は当初の小名浜から鶴の岬に変更されたが、ツーリングの楽しさはまったく変わらないのだった。

朝になっても雨は降らず、西の空もなんだか明るいという状況だった。そこで参加するかどうかはお客さんの自由として集合場所に足を向けると、「雨なんてへっちゃらさ」と豪語するハーレー乗りばかり25台も集まっていた。しかも、その中にはレインウェアを持っていないライダーもいて、「男らしじゃん」と皆に冷やかされるといふシーンもあり、雲行きを睨みながらも出発。

高速道路を北に進路をとるが、この日は雨よりも気温の低さが問題だった。この数日、初夏のような毎日だったのに、この日の気温は急変降下。まるで冬に逆戻りだったのである。

先頭の天田さんも「寒い寒い」を連発して、当初の計画を変更。ショートカットして鶴の岬に向かう。まるで大きな家族集団のようなこのグループはそんな決断も早く、昼食を取るスポットもすぐに決定。さっさとさびすを返し、国道6号で海岸線を南下すると、高台から太平洋を望む岬に到着した。

このあたりは海の幸が新鮮で、どこに行っても何を頼んでも美味しい。レインボーの春ツーリングは、臨機応変でスピーディーな行動力が印象的だった。さすが、走ることが何より大好きな茨木チャプターである。

ゴールデンウィークの真っただ中でもある4月20日。以前から計画されていたHOG茨木チャプターの春ツーリングは、地元土浦から常磐道を北に向かい、小名浜で海の幸をたらふく食べて帰るといふプランだった。

前日までの天気予報は完全に雨。それも、かなり激しく降るとの報道だったため、出発直前まで中止されるかもしれないという状況だったが、実際は当日の

全員が家族のようなノリ H-Dレインボーの春ツーリング

北関東、茨城県にある老舗ディーラー「レインボー」代表の天田昭治さんを先頭に海岸線を流すハーレー25台 春風に吹かれて、颯爽と千鳥走行

Photo&Text Moriyam
取材協力/ハーレーダビッドソンレインボー 0298-22-6666 <http://www.rainbow-mc.jp/>

